

2025 年 11 月 4 日

各 位

株式会社三井住友銀行

NEC キャピタルソリューション株式会社に「ESG/SDGs 推進分析融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、NEC キャピタルソリューション株式会社（代表取締役社長：菅沼 正明）に対し、「ESG/SDGs 推進分析融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs 推進分析融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：内川 淳）が作成した独自の評価基準に基づき企業の E S G（※1）側面の取組や情報開示、S D G s（持続可能な開発目標）（※2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

今回の NEC キャピタルソリューション株式会社に対する評価結果は、「環境マネジメント」、「従業員への配慮」、「サステナビリティマネジメント」において非常に高い水準であると判断されました。

企業経営において大変優れた E S G 側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じた S D G s 達成への貢献意欲が高いとの判断となりました。

E S G 側面の取組、情報開示では、以下の点等が進んでいるとされました。

- ① 2040 年度に向けたカーボンニュートラル実現を経営目標として位置づけ、「中期計画 2025」において削減数値目標を設定。環境中長期計画では 2040 年度カーボンニュートラル実現への道筋を明確にするなど、経営指標に環境管理指標を統合していることをウェブサイトのみならず、中期経営計画や IR 資料等において開示。また、気候変動対応のみならず、リース満了品のリサイクル促進等に向けた数値目標を設定し、事業活動に伴う環境負荷低減の取り組みを推進。さらに、Scope3 算定の検証範囲を拡大するなど、サプライチェーンを含めた環境負荷の計測を着実に進めておられる点
- ② 従業員エンゲージメントスコア及びスコア改善のポイントを経営幹部、本部長、部長に共有し、全社および職場単位で改善策を検討。さらに、ボトムアップで現場の意見を吸い上げ、改善策に反映させるため、各職場の中堅社員による部門横断タスクフォースチームを社長主催で立ち上げ、エンゲージメント向上に取り組んでおられる点

- ③ 「中期計画 2025」において非財務目標を設定し、中長期的な企業価値向上に資するサステナビリティの取り組みを定量的にコミット。環境・社会面に配慮したマテリアリティに基づき、各部門の中計、戦略、KPI・重点施策を策定し、毎月の PDCA 会議で進捗を確認するなど、全社でサステナビリティを推進する体制を整備。また、環境・社会への影響の有無やその深刻度を考慮し、投融資等を禁止する事業等及び留意する事項を定めた「NEC キャピタルソリューショングループサステナブル投融資方針」を制定し、投融資等におけるサステナビリティ観点の取組方針を明確化しておられる点。

加えて、事業を通じて、SDGs が示す「目標 7: エネルギーをみんなに そしてクリーンに」「目標 11: 住み続けられるまちづくりを」「目標 13: 気候変動に具体的な対策を」等の達成に向けた意欲をお持ちです。

株式会社三井住友銀行では、「ESG/SDGs 推進分析融資」により、お客さまの ESG/SDGs への取組を、金融を通じて支援してまいります。

<ご参考>

※1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

法人戦略部 サステナブルソリューション室

TEL : 03-4333-6965

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。